

ときつちょう うちどく すいしん
時津町は「家読」を推進しています

たまには テレビをけして

ていがくねん 2022年 ねん あきごう
(低学年) 2022年 秋号



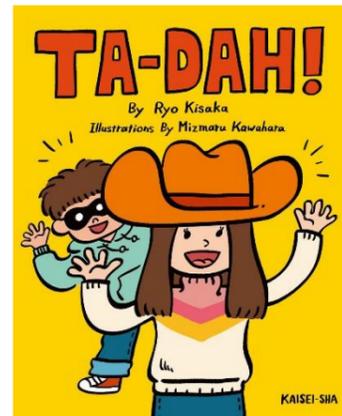
発行：ときつちょうりつときつとしよかん

うちどく 家読とは

かぞく す ほん よ ほん
家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本に
ついて話す。これが「うちどく (家読)」です。
むずか はな うちどく
難しいルールは要りません。

かぞく ほん
家族みんなでルールを決めてはじめてみましょ
う。

かぞく おな ほん よ
家族で同じ本を読みあったり、おとうさんや
おかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間
を過ごしましょう。



『TA-DAH!』

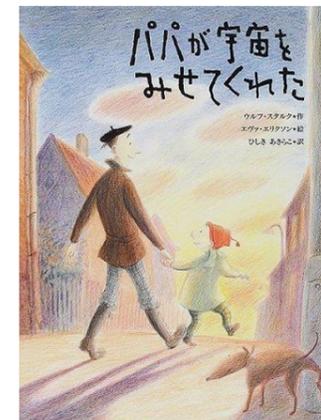
木坂 涼/作 川原 瑞丸/絵
(楷成社)

ぼくとおねえちゃんは、仮装パーティーの
衣装をえらびにきたよ!

ネコの衣装で「TA-DAH!」
宇宙飛行士になって「TA-DAH!」

にほんごで「じゃじゃーん!」を、えいご
では「TA-DAH!」というんだって!

えいごの読み方や日本語訳もついていて、
楽しくえいごを学べる絵本。



『パパが宇宙をみせてくれた』

ウルフ・スタルク/作 エヴァ・エリクソン/絵
ひしき あきらこ/訳
(BL出版)

ある日パパが、「宇宙をみせてあげよ
う」とぼくをさそった。「どこにある
の?」ときくとパパは「ちょっと遠くさ」
と答えた。ぼくとパパは寒くないように皮
のジャケットを着て、ながつをはいて出か
けた。とちゅうで宇宙食も買った。

さて、パパが見せてくれた宇宙とは…?



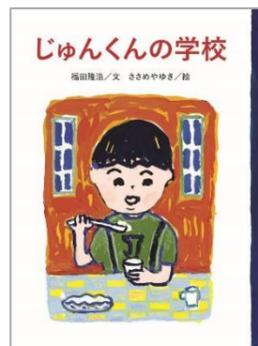
『なみのむこうに』

ブリッタ・テッケントラップ/作 三原 泉/訳
(BL出版)

ひとりぼっちのエラは、小さな船にのってま
っくらな海にうかんでいました。大きな波がお
しよせてきて、とても不安なエラ。

そこへ一羽の鳥がやってきました。つづいて
クジラもやってくるとエラはだんだん勇気が
わいてきて…。

みんな一人じゃないんだよってことを教え
てくれる一冊です。



『じゅんくんの学校』

福田 隆浩/文 ささめや ゆき/絵
(あすなろ書房)

じゅんくんの学校は《とくべつしえん
学校》といって、みんながかよっている
小学校とはすこしちがう。どんな学校な
のかな?じゅんくんのクラスのおともだ
ちはどんな子どもたちなのかな?

学校をちょっとのぞいてみましょう。

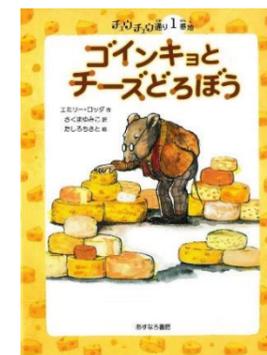


『フルーツふれんずイガグリくん』

村上 しいこ/作 角 裕美/絵 (あかね書房)

「ともだちにいじわるをしているでしょ
う」と、お母さんに怒られたイガグリくん。
でも「自分はわるくないのに」とモヤモヤし
た気持ちでいっぱいでした。

ところが、きばらしにいった公園で、
ルールをまもらない人に出会います。そのせ
いで、まわりの人たちがいやな気持ちになっ
ていることに気づき…。



『ゴインキョとチーズどろぼう』

エミリー・ロッド/作 さくま ゆみこ/訳
たしろ ちさと/絵
(あすなろ書房)

ここは、ハツカネズミのすむネコイラン
町。チュウチュウ通りにある大きなおやし
きに住むゴインキョさんは、おたからのチ
ーズをととても大切にしていました。

ある日、ゴインキョさんの家にふしぎな
手紙がとどきました。その手紙には…。